

令和4年4月28日

船の事故	発生日	発生日	発生日	発生日
	4月21日(木)	佐賀県	プレジャーボート	運航不能
	4月23日(土)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	4月24日(日)	長崎県	プレジャーボート	運航不能
	4月24日(日)	山口県	プレジャーボート	乗揚
人の事故	発生日	発生日	事故区分	事故内容
	4月18日(月)	大分県	マリレに伴う海浜事故	帰還不能
	4月20日(水)	長崎県	マリレ以外の海浜事故	負傷
	4月20日(水)	福岡県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	負傷
	4月23日(土)	福岡県	マリレに伴う海浜事故	海中転落
	4月24日(日)	山口県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	負傷

釣り中の乗揚げ海難発生！

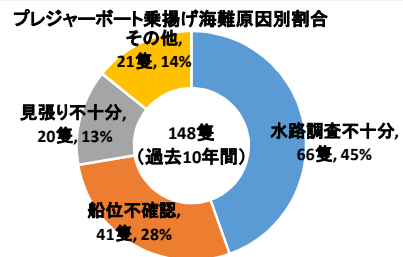
【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
Tel: 093-321-2931 (内線2640)

【事故事例】

令和4年4月24日05:30頃、プレジャーボート(6.44メートル)に船長他1名乗船し出港、漂泊しながら釣りを開始した。同日07:50頃、魚影を認めたことから、乗揚げ位置付近に移動し、再度漂泊し釣りを行った。同日08:05頃、魚影を見失ったことから漁場を移動するため航走を開始した直後、船底から鈍い音がしたため、状況を確認したところ、乗揚げたことが判明したもの。
同船は巡視艇により曳航救助された。



過去10年間のプレジャーボート乗揚げ海難を原因別にみると、「水路調査不十分」、「船位不確認」、「見張り不十分」が主な原因で乗揚げ海難が発生しています。
乗揚げ海難を起こさないためにも以下のことに気を付けましょう。



◆乗揚げ事故を防止するために

・航行する海域の事前水路調査

海図等により航行する海域や釣りをを行う海域の浅瀬等がある危険な海域や定置網等の存在を把握しておきましょう。
予定海域より広めに水路調査をしておくにより安全です。



・常に自船の位置、周囲の状況を確認

船はエンジンを停止してもその場に留まらず、潮流の影響により思いのほか流されます。釣り中であっても周囲の状況等をしっかりと確認し、自船の位置を確認しましょう。
可能であれば、エンジンをアイドルの状態にしてレーダー、GPS等航海計器を使用し、より正確に自船の位置を把握しましょう。

・自動操舵使用時は注意

自動操舵装置は操船の負担を軽減し、見張りに専念するために開発されたもので、完全な自動運転ではありません。
自動操舵中、船長が乗船者との会話や作業等に夢中になると見張りが不十分になり、衝突、乗揚げなどの海難に繋がります。自動操舵中であっても見張りを行い、通航船多数、浅瀬等の存在、強潮流が発生する海域を航行する場合は、手動操舵に切替、安全運航に努めましょう。

